

え方は。

答 他の自治体の状況などを確認しながら検討していきたい。

林野火災注意報と林野火災警報の発令

問 発令指標によって、本市では林野火災注意報と林野火災警報は年間で何日くらい発令されるか。

答 注意報は年間5日から6日程度、警報は年間1日程度になると想定している。

議案 No.95

芦ヶ池農業公園リニューアルPFI事業の契約金額

問 契約金額について、金利や物価、事業量の変動、制度の変更による増減額、そして消費税および地方消費税を加算した額と表現した理由は。

答 維持管理業務と運営業務は長期間にわたるため、金利や物価などの変動が想定される部分について、別途加算するという表現とした。

議案 No.96

市道路線認定後の市道の管理

問 現在、生活道路として利用されている道路を認定するに当たり、今

後市道として管理していくことに支障はないか。

答 認定予定の道路は、道路幅が約6メートルでアスファルト舗装が施工されており、市道認定の要件を満たしている。また、用地整理の手続きも地権者が行い寄附することとなっており、今後、市道として管理していくことに支障はない。

(12/11総務産業委員会)

議案 No.98

生活保護費の支給

問 生活保護費の扶助費の中で、医療扶助だけ補正予算で上がっている理由は。

答 医療扶助に関しては、生活保護が必要となる世帯のほぼ全てが高齢であるとか、持病がある方で、医療機関での治療を必要としているため。

問 医療扶助費が増加する要因をどのように捉えているのか。

答 人工透析を受ける方や、精神疾患などで入院する方が増えたことが、今回の増額につながった要因だと捉えている。

産後ケア事業

問 産後ケア事業の中で特に宿泊型の利用が多いとのことだが、この増加分の事業費をどのように見込んだのか。

答 令和6年度下半期、令和7年度上半期の利用率と1人当たりの平均利用日数を考慮し、宿泊型は1人当たり4日を10人分と見込んで86万4千円とした。

問 宿泊型の利用が増えた要因をどのように分析しているのか。

答 産後ケア事業が誰でも利用できる制度であるということが認知されたことと、昨年度、近隣市に産後ケアに特化した民間施設が開設されたことが大幅に増加した要因と捉えている。

赤羽根南水路の浸水対策調査検討

問 実効的な測量や設計を同時に行わない理由は。

答 水路単体の改修だけでなく、流域全体を踏まえた対策の可能性も検討する必要があるため、まずは基礎となる流域確認や水路の流下能力の把握、対策案の検討を確実に行うことを優先した。

問 この調査検討の実施後、どのよう

なスケジュールで事業化を進める予定なのか。

答 調査検討での対策方針の結果を受けて、必要な測量設計の実施、さらに用地の調整を進めていく。また、並行して補助事業等の活用についても検討し、早期の事業着手を目指して進めていく。

泉港のしゅんせつ工事

問 工期が約1年かかる理由は。

答 北西の季節風の影響があり、真冬の時期は作業が進まないことを想定している。また、しゅんせつした土砂を処分先まで運搬するため、に相当の日数がかかると予想されているため。

問 しゅんせつした土砂をどのように処分する予定か。

答 しゅんせつした土砂については、今回は白谷浅海干潟へ投入する予定である。浅海干潟に投入すること、漁場環境の整備にもつながるものと考えている。

(12/12予算決算委員会)